

ふれあい、競い、健康の大切さを実感した一日



力自慢が集まつた泡丸投げ



「目指せ！未来のJリーガー」
(ロップン熊本サッカー教室)



力強く選手宣誓をする
吉崎 豊さん（飯野体協）



総合体育館で行われた
3 on 3バスケット



ウォーキングコーナーでは、気持ちのいい汗をいっぱいかきました



▲自分の宣言タイムを目標に走る「タイム・ザ・アタック」



子どもたちに人気の
丸太切り



今年も大盛況のマッサージコーナー



血圧をチェックする参加者

陸上競技場の芝スタンドでは、自身の日ごろからの健康管理と体力づくりを再認識してもらうために、ためして健康・歯科健康相談・ウォーキングコーナーなどが設けられ、食生活や健康面での指導がされました。また、子どもたちや親子連れには、木工教室の指導を受けながら、笑顔でプランターや椅子を作っていました。

メインのトラック競技では、校区対抗400mリレーと20人リレーが行われ、校区の威信をかけた白熱のレースに、会場からは大きな声援が送られていました。

秋晴れのスポーツ日和に恵まれた10月11日、「ままにスポーツ・健康フェスタ」が町総合運動公園で、選手、大会関係者、来場者など約2,000人を集め、盛大に開催されました。この催しは、スポーツ活動を通じて、健康体力づくりを図るとともに、町民の親睦友情を深める目的で毎年開催され、今年で15回目を迎えました。

今回から新しい会場となつた総合運動公園には、ちびっ子からお年寄りまでが気軽に参加できるスポーツコーナーが用意され、さまざまな競技に参加者は、さわやかな笑顔と心地よい汗をかいていました。

陸上競技場の芝スタンドでは、自分自身の日ごろからの健康管理と体力づくりを再認識してもらうために、ためして健康・歯科健康相談・ウォーキングコーナーなどが設けられ、食生活や健康面での指導がされました。また、子どもたちや親子連れには、木工教室の指導を受けながら、笑顔でプランターや椅子を作っていました。

メインのトラック競技では、校区対抗400mリレーと20人リレーが行われ、校区の威信をかけた白熱のレースに、会場からは大きな声援が送られていました。